

第39回全国フォークリフト運転競技大会開催

大会史上初、女性選手が一般の部で優勝

【一般の部】優勝 佐藤修子選手(岡山県支部) 準優勝 大沢光正選手(岐阜県支部)
 【女性の部】優勝 井藤磨奈選手(愛知県支部) 準優勝 新谷真代選手(滋賀県支部)

陸上貨物運送事業労働災害防止協会は、9月28日(土)・29日(日)、中部トラック総合研修センター(愛知県みよし市)にて第39回全国フォークリフト運転競技大会を開催しました。

本大会は、フォークリフトの運転競技を通じ、運転の知識と技能の向上を図るとともに、遵法精神と安全意識を高めることにより職場における安全作業の確立と労働災害防止の推進に資することを目的として毎年開催しています。今年は、地方大会で特に優秀な成績を修め、各都道府県支部長から推薦を受けた、一般の部47名、女性の部15名、合わせて62名の選手が出場しました。

第39回大会を制したのは、

一般の部 岡山県支部 佐藤修子選手

女性の部 愛知県支部 井藤磨奈選手

でした。

佐藤選手は、女性選手として大会史上初めて一般の部で優勝を果たしました。同選手は前回大会女性の部で優勝されています。

井藤選手は、全国大会初出場で女性の部優勝の栄冠を手に入れました。

お二人を含め上位入賞された皆様、誠におめでとうございます。

本年の地方大会には、多くの支部の関係者や会員企業の皆様のご理解とご協力により、昨年より21名多い439名の選手が出場され、全国各地で熱い競技が繰り上げられました。



一般の部優勝 佐藤修子選手(左)、
女性の部優勝 井藤磨奈選手(右)



運転競技の模様

開会式

開会の挨拶

大会実行委員長である当協会横尾雅良専務理事から開会の挨拶があり、「選手の皆様は、これから始まる競技に緊張とともに期待に胸を大きく膨らませておられることと思います。これまで培ってこられた知識と技術、技能を遺憾なく発揮し、健闘されますことを強く希望いたします。



横尾実行委員長

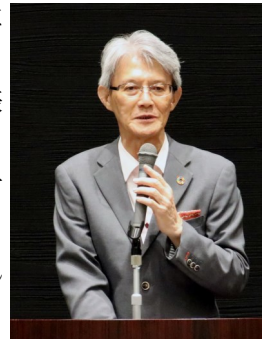
選手の皆様が、本大会への参加を目指す中で得られた様々なご体験、ご知見をそれぞれの職場に持ち帰っていただき、皆様の職場における作業の安全、労働災害の根絶に役立てていただきますことを強くお願いします」と開会を宣言されました。

開催地支部長挨拶

次いで開催地支部の青木均愛知県支部長（当協会副会長）から、「全国よりそれぞれの地方大会で優秀な成績を収められました選手の皆様、愛知県までお越しくくださいます、誠にありがとうございます。

選手の皆さんは2日間の競技に集中していただき、優勝を目指して日頃の練習の成果を十分に発揮していただきたいと思います。

競技大会ですので順位は付くわけですが、一番大事なことは、皆様の日頃のフォークリフト作業における安全と、労働災害を起こさないことだということを頭に入れてほしいと思います」との挨拶がありました。



青木愛知県支部長

選手宣誓

続いて、前回大会の優勝者が所属していた山口県支部の久保治彦選手が全選手を代表して、「正々堂々、競技することを誓います」と力強く選手宣誓を行いました。



選手宣誓



開会式の模様

第39回全国フォークリフト運転競技大会出場選手の皆さん（敬称略）

一般の部（47名）

支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名
北海道	石田 理大	埼玉県	中村 直矢	岐阜県	大沢 光正	和歌山県	福本 一成	佐賀県	池田 泰蔵
青森県	岩間 高広	千葉県	高根 精	静岡県	千田 光記	鳥取県	角 拓也	熊本県	三島 利顕
岩手県	佐藤 盛		大森 春輝	愛知県	岡田 洋祐	岡山県	佐藤 修子		児玉 和弘
宮城県	庄司 誠幸	東京都	佐野 雄哉		磯貝 大也		藤原 明広	大分県	佐藤 貴史
山形県	酒井 正行	神奈川県	杉田 和哉	三重県	小川 裕樹	山口県	久保 治彦	宮崎県	湊 征一郎
福島県	梅津 吉広	新潟県	森山 伸		吉田 優佑	徳島県	奥村 渉	鹿児島県	中原 拓郎
茨城県	鴨志田 邦晴	富山県	川瀬 駿	滋賀県	進藤 雅紀	香川県	角先 大和	沖縄県	平地 洋輔
	富永 翔	石川県	石田 孝夫	京都府	高谷 昌樹	愛媛県	一色 卓也		
栃木県	野口 真彦	福井県	西出 光宏	大阪府	田村 蓮		白崎 将駿		
群馬県	南雲 伸一	長野県	唐澤 良平	奈良県	吉村 健太郎	福岡県	高原 彬裕		

女性の部（15名）

支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名	支部名	氏名
北海道	土門有希子	群馬県	竹内 陽子	愛知県	井藤 磨奈	京都府	島田 香織	福岡県	井上 望
福島県	関根 唯	埼玉県	杉本 実穂	三重県	篠原 望玖	岡山県	吉田 加奈	熊本県	上川 真世
茨城県	西原可奈江	静岡県	宮本あゆ美	滋賀県	新谷 真代	山口県	木村 優香	沖縄県	宮里 睦美

競技

学科競技

学科競技では、選手は緊張感漂う競技場内で、問題用紙を食い入るように見つめ、50問の問題を一問一問慎重に解いていました。



学科競技

点検競技

点検競技は全3コースで実施しました（写真1）。今大会の点検競技で使用したフォークリフトは次の機種です。

第1コース：住友ナコ（FT15PAXIII）

第2コース：コマツ（FG15T-21）

第3コース：三菱ロジスネクスト
（KFGE15P-TP）

審査員の競技開始の合図とともに目・耳・手とハンマーで点検を行い、正確性を競いました。



第1コース



第2コース



第3コース

写真1 点検競技

運転競技

運転競技は2コースで実施しました（写真2）。今大会の運転競技で使用したフォークリフトはAコース、Bコースともに次の機種です。

トヨタL&F（02-8FDL25）

キーを挿し、運転開始準備を整え、一呼吸すると、瞬時に意を決した表情になり、フォークリフトを滑らかに動かすと、狭いコースを縫うように進んで行きました。高い技術と集中力には驚嘆するばかりでした。



Aコース



Bコース

写真2 運転競技

表彰式

会長挨拶

当協会齋藤充会長から「全国からご参加いただいた62名の選手の皆様には、緊張の中、学科・点検・運転の各競技に2日間にわたり真摯に取り組んでいただきました。皆様の健闘に、心より敬意を表します。選手を送り出していただきました関係者の皆様方にも、厚く御礼を申し上げます。



齋藤会長

陸運業における荷役作業中の労働災害は増加傾向が続いており、フォークリフト作業においても安全作業の徹底が求められています。

選手の皆様は、本大会への参加に向けて、フォークリフト運転の知識、技能に一層の磨きをかけられたことと拝察します。本大会への参加を通じて得られた経験を職場の同僚、後輩の方々に広く伝えていただき、職場における労働災害の防止になお一層のご尽力をいただくようご期待申し上げます。

各地方大会及びこの全国大会を通じて、荷役運搬作業における安全作業の確立と労働災害の防止がさらに推進されますことを祈念いたします」との挨拶がありました。

来賓祝辞

続いて、来賓の方々から祝辞をいただきました。

厚生労働省労働基準局安全衛生部長

（代読：安井省侍郎同局安全衛生部安全課長）（要旨）

「フォークリフトは、作業の効率化、省力化に大きく貢献するものとして、我が国の物流、生産活動において必要不可欠なものとなっています。

一方で、令和5年のフォークリフトに関連する労働災害発生状況を見ると、22名の

方々の尊い命が失われ、1,989名の方々が休業4日以上災害に被災されている状況です。

皆様方におかれましては、皆様の職場の安全対策に問題がないか、今一度確認いただくとともに、安全運転の技術を生かし、安全運転の徹底に努めていただければと思います。

また、今後とも職場や地域における模範として、日頃の安全活動や後進の指導にも取り組んでいただきますようお願いいたします」旨の祝辞代読をいただきました。

安井安全課長からは「今回私は初めて大会を見させていただきました。フォークリフトは後輪が動くという非常に難しい車両ですが、軽々と的確にかつ正確に運転されているところに大変感銘を受けました。大会に出場された皆様は都道府県においてはトップということです。事業場に戻られた際には、安全運転、安全作業については是非模範として周りの方へのご指導をお願いします。」旨のお言葉をいただきました。



安井厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課長

全日本トラック協会会長

（代読：齋藤晃交通・環境部長）（要旨）

「全国から選出されたフォークリフト運転者の精鋭によって、日頃から培った高度な技能と士気が競われた本大会のもつ意義と役割は重要であります。参加された選手の方々にお

かれては、本大会の参加を誇りに、地域のフォークリフト運転者に対して、安全は全てに優先するという意識を浸透させるためのリーダーとして、今後の一層の活躍を期待しています。」



齋藤全日本トラック協会交通・環境部長

日本産業車両協会会長

(代読：高瀬健一郎専務理事) (要旨)

「今年の7月3日に東京で第4回フォークリフト安全の日を開催し、フォークリフトの安全向上のための最新の機能をご紹介しますと共に、フォークリフトを正しく使っていただくための普及啓発活動に力を入れています。フォークリフトによる荷役作業における安全性向上を目指した本大会をはじめとする陸災防の事業に賛同しますと共に、卓越した技術を持って各支部を代表して参加された選手の皆様のますますの発展をお祈りします。」



高瀬日本産業車両協会専務理事

講評・入賞者発表

当協会木口昌子技術管理部長から、学科競技、点検競技、運転競技のそれぞれについて講評（詳細は、本誌7ページをご参照ください。）を行い、続いて入賞者の発表が行われました。



木口技術管理部長

入賞者発表では、健闘賞、5位、4位と順次上位入賞者が発表される度に大きな歓声と拍手があがり、準優勝者、優勝者の発表ではゼッケン番号の読み上げと同時に大歓声と割れんばかりの拍手が起こり、目頭を拭う方もおられました。

第39回全国フォークリフト運転競技大会 一般の部 入賞者及び結果 (敬称略)										
順 位	氏 名	支 部 名	総合得点	学 科	点 検	運 転		配 点	最 高 得 点	平 均 点
優 勝 (厚生労働大臣賞)	佐藤 修子	岡山県	988	288	100	600	学 科	300	288(3名)	247
							点 検	100	100(30名)	94
準優勝	大沢 光正	岐阜県	972	282	90	600	運 転	600	600(2名)	507
第3位	田村 蓮	大阪府	960	270	100	590	総合得点	1,000	988	848
第4位	久保 治彦	山口県	958	288	100	570	()内は最高得点者数			
第5位	南雲 伸一	群馬県	955	270	100	585				
健闘賞	吉田 優佑	三重県								

第39回全国フォークリフト運転競技大会 女性の部 入賞者及び結果 (敬称略)										
順 位	氏 名	支 部 名	総合得点	学 科	点 検	運 転		配 点	最 高 得 点	平 均 点
優 勝 (厚生労働大臣賞)	井 藤 磨 奈	愛 知 県	937	252	100	585	学 科	300	252(2名)	219
							点 検	100	100(3名)	85
準優勝	新 谷 真 代	滋 賀 県	902	252	100	550	運 転	600	585(1名)	438
第3位	篠 原 望 玖	三 重 県	851	216	80	555	総合得点	1,000	937	742
第4位	宮 本 あ ゆ 美	静 岡 県	850	240	95	515	()内は最高得点者数			
第5位	土 門 有 希 子	北 海 道	836	216	95	525				
健闘賞	該 当 無 し									



表彰式の模様

表彰

入賞者発表に続き表彰が行われ、陸上貨物運送事業労働災害防止協会会長賞が齋藤会長から入賞された選手一人一人に授与されました（写真3、4）。

一般の部及び女性の部の優勝者へは、安井厚生労働省労働基準局安全衛生部安全課長から厚生労働大臣賞の授与（写真5）があり、次いで齋藤会長から会長杯の授与（写真6）が行われ、閉会となりました。



写真3 会長賞を手にした一般の部入賞者の皆さんと齋藤会長



写真4 会長賞を手にした女性の部入賞者の皆さんと齋藤会長



写真5 安井安全課長と優勝者



写真6 齋藤会長と優勝者



入賞選手の皆さん

前列左から、小林愛知労働局長、安井安全課長、佐藤修子選手、齋藤会長、井藤磨奈選手、青木愛知県支部長、横尾実行委員長、後列左から、吉田優佑選手、南雲伸一選手、久保治彦選手、田村蓮選手、大沢光正選手、新谷真代選手、篠原望玖選手、宮本あゆ美選手、土門有希子選手

第39回全国フォークリフト運転競技大会 結果の概要

技術管理部長 木口昌子

今大会は、学科、点検、運転の全部門で平均点が前回大会を上回るハイレベルな競技となりました。9月29日の表彰式でもごく簡単に申し述べましたが、今大会の講評を以下に取りまとめました。次回以降の大会に向けて、参考としていただければ幸いです。

学科競技

学科競技は、正誤方式の50問で、各問6点の300点満点で行われました。平均点は240点（前回232点）で、最高点は前回大会と同じく288点でした。

今大会では、これまでの大会で出題された問題を出場選手の皆さんに事前にお配りしました。事前学習の参考となりましたでしょうか。出題科目別で見ると、「走行に関する装置の構造、取扱いの方法」の正答率が84%（前回70%）と大幅に上がった一方、「関係法令」の正答率は72%（前回83%）と大幅に下がりました。

大会を機に改めて知識の再確認を行い、後進の指導の際などにも活かしてください。

点検競技

点検競技は、作業開始前点検項目39項目のうち10項目の審査対象項目について、点検実施の有無及び不具合箇所の指摘について審査しました。配点は1項目10点の100点満点で、平均点は92点（前回83点）、満点を取られた方は33名でした。一方、時間切れその他により審査対象項目の点検漏れがあった選手は11名いました。作業開始前点検の項目は漏れなく実施できるよう、日頃から習慣づけてください。

不具合箇所の指摘誤りは、ティルトシリンダーロッドエンドのゆるみやクリップナットのゆるみなどで見られました。点検し難い箇所にこそ確実な点検が求められることを常に意識してください。

運転競技

運転競技は、「トヨタL&F」製の最大荷重が2.5 tのカウンターバランスフォークリフト（ディーゼル・トルコン車）と1.0 tの荷を用いて実施しました。配点は600点で、基本操作技術について減点方式により採点し、制限時間（5分）を超過した場合は超過時間に応じて減点をしました。

平均点は490点（前回487点）で、満点を取られた方が2名いました。また、18名の選手に時間超過が見られました。

操作技術の中では、荷の取卸しや積付けの際の、パレット端面と架台端面との不一致の指摘が多くみられ、ゴール停車時にフォークを完全に地面につけないで終了する選手も少なからず見られました。

運転技術では、コースフェンスに接触する指摘が多く見られました。

フォークリフトの走行特性を理解したスムーズなハンドル操作により、理想の走行ラインを通ることが時間短縮につながります。今回の大会での運転操作を振り返って、できていなかった部分を是正し、より安全で正確な運転につなげてください。

【第39回全国フォークリフト運転競技大会】

新たな取組のご紹介

今大会から実施しました新たな取組をご紹介します。

まず、大会出場選手向けのマニュアル「出場選手の皆様へ」を作成し、出場選手の皆様に事前に配付しました。このマニュアルには、大会期間中のスケジュールや段取り、注意事項などが網羅されています。選手の皆様に事前に目を通していただくことにより、大会の全体の流れをつかんだ上で大会当日を迎えることができ、大会期間中も分からないことがあればすぐに確認できるなど、選手の皆様が安心して大会に臨めたと思います。

次に、過去3回の大会の学科競技で出題された問題（類似問題を除く103問）を整理した「学科競技過去問題集」を出場選手の皆様にお配りしました。問題の傾向を把握されるなど、学科競技の事前準備に資していただけたと思います。



出場選手の皆様への案内

さらに、大会の点検競技と運転競技で一定以上の成績を収めた選手を「フォークリフト荷役技能検定1級実技合格者」と認定し、10月16日実施の「フォークリフト荷役技能検定1級試験」で学科試験を受けられるよう、表彰式当日に「1級実技合格者 認定通知書」を該当する選手にお渡ししました。合わせて10月の技能検定では1級学科試験を実施する支部数を大幅に増やし、近隣の会場で受験できるようにしました。この認定通知書は令和8年度の検定試験までは実技試験が免除されますので、ぜひ受検をご検討ください。

今後もこうした取組を継続するとともに、選手の皆様が大会で実力を発揮できるよう支援してまいります。

第39回全国フォークリフト運転競技大会 会長杯、厚生労働大臣杯と賞状、入賞者トロフィーと賞状楯



会長杯と入賞者の賞状楯を一新しました

【大会優勝者インタビュー】

結果に満足せず挑戦する

第39回大会 一般の部 優勝 佐藤修子選手

優勝おめでとうございます。お気持ちをお聞かせください。

かなりプレッシャーを感じていましたので、ちょっとほっとしています。

昨年女性の部で優勝されてから、今年一般の部へ挑まれた思いをお聞かせください。

自分の技能や知識を上げたかったことと、昨年女性の部で優勝はできたんですけど、結果にあまり満足できなかったからです。

結果というのは、点数でしょうか？

そうですね、点数とか自分のやり切った感じがないうか。まだちょっとだめだなという反省点がたくさんあったので、もう一回チャレンジしたいなということで、一般の部に参加させていただきました。

一般の部に女性の選手が出場することで、何か気持ちの部分でハードルみたいなものがありましたか？

それは特にはありませんでしたが、まずは県大会で上位にならないと全国大会に出場できないので、県大会を一番の山場と思い、そこで勝つことだけをまず目標にして、練習と勉強を頑張りました。

一般の部と女性の部でレベル感は違いましたか？

レベルは違うと感じました。人数も違いますし、まだ少し差があると感じました。

昨年大会への挑戦と今大会への挑戦で、大きく変わったことはありますか？

今大会に向けて昨年より精度の高い練習をしたと思いますし、勉強の仕方もいろいろ工夫して、追求したという感じがあります。気持ちの面で、気合が入っていたので一生懸命挑戦できたと思います。

練習・勉強方法をお聞かせください。

練習は時々場所を借りて、選手が集まり合同練習を行い、そこで集中して練習しました。普段は学科競技に向けた勉強は仕事から帰ってきて自宅で行っていました。

職場や周囲の方々のご協力はありましたか。

練習日に私が行きやすいように、また研修に出やすいようにシフトを配慮していただきました。

普段の業務内容をお聞かせください。

フォークリフトで飲料（ビール）、パレッ

トのはい付けや積卸しを行っています。

昨年女性の部優勝者になって、普段の作業で変わったことはありましたか。

身に付いた知識や技術は現場で役立っています。こういう法規則があって、こういう風にきまりになっているんだということが改めて分かりますし、技術の方でも運転が安全にできることによって、自分自身ミスすることもなくなりました。

大会初日、ゼッケン番号が抽選で62番（最終競技者）になった感想をお聞かせください。

初めは「あぁっ」と思いました。早目の番号を狙っていたので。でも、競技順番まで自分が今まで練習してきたことをまとめたり、うまくいくイメージをしたり、気持ちを整える時間があつたので、良かったかなと思いました。

緊張はされましたか？

緊張は始まってしまえばなかったです。キーを受け取り、乗り込むまでは結構ドキドキしてましたが、エンジンをかけリフトが発車した瞬間からは自分の世界に入りました。

佐藤選手の強みはなんですか？

手先を動かすのが好きで、動かすことをしている方が落ち着くので、操作が苦になりません。ただ、荷や荷台等との距離感を覚えるのは時間がかかりました。

今後の抱負と今後出場を検討している女性の方々へメッセージをお願いします。

安全に効率よく運転するための技術や自分が勉強した法令等を現場に落とし込んで、みんなが怪我なく事故なく楽しく働けるような現場作りに貢献したいです。

勉強すれば点も上がってくると思いますし競技に年齢や性別は関係ないと思います。多少体力差や機械が苦手などあるかもしれませんが、どんどんチャレンジしてほしいです。



【大会優勝者インタビュー】

良いイメージを持つ

第39回大会 女性の部 優勝 井藤磨奈選手

優勝おめでとうございます。感想をお聞かせください。

まさか自分が！と驚きました。5位から名前を呼ばれていく中、良くなかったかもという不安もあり、もうだめなのかなとちょっと思っていたので、一瞬自分が呼ばれていることに気が付きませんでした。支えてくださったみなさんに恩返しができるような結果になって本当によかったです。

大会に参加してみようと思ったきっかけはありますか。

先輩方や上司の強い勧めでした。実際に先輩が大会に出られている姿を見て、自分も挑戦したくなり出場を決めました。

地方大会ではいかがでしたでしょうか。

愛知県大会では昨年が2位で、今年再挑戦で2回目でした。事業所の方から今年もう一回どう？と背中を押していただいて出場したのですが、まだまだ自分は1位になれないんじゃないかという不安が大きかったですね。

全国大会での各競技はいかがでしたか？

学科は正直自信がなく、どうしようと思いましたが、点検だ！とすぐ切り替えるよう心掛けました。第36回～第38回大会の過去問題集を解いていた時もレベルが高いなと感じていましたが、本番でもテキストと少し言い回しが違うだけでこんなに難しいんだなと実感しました。

点検はいいペースだったのですが、最後に迷ってしまいました。

運転競技は2tに初めて乗った時に、大きさにまずびっくりしました！普段乗っているのはリーチフォークやラックフォークなので、自分に乗れるだろうかと不安がありました。練習ではぶつけてばかりでした。ご指導いただいた教官の方にできるようになったねと褒めていただくたびに自信がついてきて、実際に練習した成果が本大会で発揮できてよかったです。

どのような練習をされましたか？

通常の業務も忙しいので、限られた時間の中でいろんな方に協力していただきながら取

り組みました。特に本番のイメージトレーニングをして今日に挑みました。

学科は書かないと覚えられないので、ひたすら間違えたところを書き、分かり辛いところは線を引いたりラインを変えたりして工夫しました。点

検は車両をイメージして実際に動き回ったり、不具合がある場合、ない場合の両方をイメージしたりして練習しました。ひたすら練習、イメージトレーニングをしました。運転競技は、まずは自分がうまくできないところを何回も何回もできるまで練習。ハンドルの切り返しや、見るポイントなどです。

優勝した秘訣や武器はなんでしょうか？

良いイメージをもつことだと思います。

学科はテキストを読んで、間違いやすいところをポイントで書き出したり、点検は見方や目線、触り方をミリ単位、響きや音で覚えたり。運転は練習あるのみ。練習どおりに、そして今までやってきたことをイメージして本番に臨みました。

現在の職務内容をお聞かせください。

医療機器をお客様に運んでいます。精密系のものがあるので、常に慎重に行っています。

今後の抱負や目標はありますか。

大会に向けて培った知識や技術を業務に生かして、さらに周りの方に広めていけたらなと思います。またフォークリフトの危険性も広めていきたいです。

